



# ABEST21 e-News

## No.72, December 2014

### ABEST21

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,  
a 21<sup>st</sup> century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: [ABEST21@abest21.org](mailto:ABEST21@abest21.org)  
Editor: Fumio Itoh

### ABEST21 Office Report

=====

2014年12月

- ・06日：山口大学大学院技術経営研究科技術経営専攻（専門職大学院）でPRT実地調査を実施
- ・11日：FEB-Universitas Hasanuddin (Makassar, Indonesia) を訪問
- ・12日：FE-Universitas Haluoleo (Kendari, Indonesia) を訪問
- ・13日：APMMI National Seminar (Surabaya, Indonesia) に出席
- ・15日：FEB-Universitas Diponegoro (Semarang, Indonesia)でPRT実地調査を実施
- ・17日：Universiti Utara Malaysia (Sintok, Malaysia) でPRT実地調査を実施
- ・22日：Naresuan University (Phitsanulok, Thailand) でPRT実地調査を実施

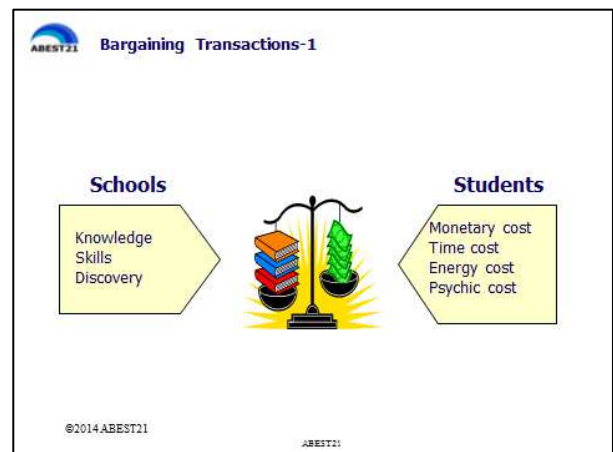
### 1. マネジメント教育の質保証 -19

=====

#### 受審校の「個性豊かな教育特徴の伸長」について

国境を越えた高等教育のグローバル化の進展に伴い、高等教育市場の市場構造は“売手市場”から“買手市場”に移行しつつある。高等教育のサービスを提供する大学間の国際競争が激化しつつある。世界の高校生を求めて相手国にキャンパスを設置し、また海外諸国にレイゾンオフィスを立て、学生の確保に必死である。とりわけ、日本の18歳人口の減少傾向と教育研究環境のグローバル化の進展は、地方の大学においては大学の存亡に係る喫緊の課題として大学改革の推進が求められる、国も「スパークローバル大学事業」の促進によりその大学改革を支援してきていることがこれを象徴している。

高等教育市場はまさに教育サービスに関する学生（買手）と大学（売手）との間の売買的取引（Bargaining Transaction）の市場である。学生は教育サービスの買手として、大学に学費等の金銭的コストを、通学のためのエネルギーコストを、学習のための時間的コストを、そしてその大学から良い教育が受けられる精神的コストを、それぞれ支払ってくる。一方、大学は売手として学生に知識、技術、知見等の教育サービスを提供する。教育サービスの買手市場では、学生は支払コストを上回る教育サー



ビスの付加価値を求めてくる。すなわち、この支払コストをどこの大学に支出したらその支払コストを上回る最大の付加価値が得られるかを比較検討してくる。従って、大学は学生確保のために教育研究の比較優位性を有効に活用していかなければ、買手市場の学生確保は難しい。学生は自己の支払いコストをどこの大学に支払うか大学を選ぶ選択権の優位性を持っている。

売買取引においては、売手も買手も共に「取引力(Power)」と「機会 (Opportunity)」を持っている。「取引力」とは自己の資源を“相手に利用させない力 (Power to withhold)”であり、大学の場合は特徴ある学習機会を相手に利用させないことであり、学生の場合は、自己の金銭的資源を大学に利用させないことである。大学も学生の自己の資源を相手に利用させない力を持っている。

「機会」は相手を選ぶことで“選択 (Choice)”ある。学生は自己のコストをどこの大学に支払うか、大学もどの学生に自己の教育研究資源を利用させるか、それぞれ相手を選んでくる。競争市場構造によって売手と買手の立場は異なり、今日の教育サービス市場では買手市場となって学生が大学を選ぶ優位な立場にある。実際に我が国の大学の約4割が入学定員の充足ができないと云われている。

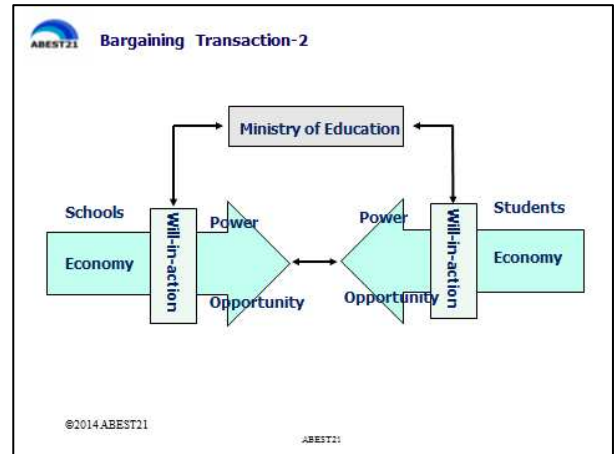
そして、大学及び学生の取引主体は行動意思 (will-in-action) をもち、希少性の社会における取引主体の“力の方向”(行為をするかしないかの選択をする意思)と“力の程度”(どこまで行うことができるかを決める意思)の判断をしていく。その判断は「取引力」と「機会」を取引主体の欲求の最大化を求めた経済 (economy) の実現のために行ってくる。

現代の競争市場構造のもとでは、大学が教育研究活動の使命を全うしていくために、それに相応しい学生 (質) を確保していかなければならず、取引力を強化していくしか方法はない。その取引力とは当該大学の個性を豊かにし、教育研究の希少性を創り出すことである。当該大学の固有の教育研究諸資源に基づく教育研究の独自性を発展させていくことにより、特徴ある教育サービスを学生に提供することが可能となる。大学は、この“特徴ある教育サービス”を相手に“利用させない力”として活用し、大学の教育研究活動の使命を実現していく相応しい学生の確保に使うべきである。

現実には、大学及び学校法人は大学の経営問題が先行しているために、学生定員確保の「数量」のみに気がとられている。これでは大学のミッションは実現できず、ミッションは絵に描いた餅のようなものである。大学は今や学生確保のための美辞麗句の広告合戦をしているが、それを裏付ける教育研究環境に内実がなく、学生の夢を実現させていく環境が整備されているとは思えない大学が多いのではないだろうか。

今日、高等教育の「質保証」がとわれている背景はこれである。大学にはそれぞれ依って立つところの教育研究の“ミッション”がある。このミッションを実現する教育研究環境が当該大学の固有の“相手に利用させない力”であり、これを実現するためには大学の個性を豊かにしていかなければならない。大学は、自己の教育研究活動の「強み (Strengths)」を明確に分析し、教育研究特徴を伸ばさせていく魅力ある学習機会を創造していかなければ、大学の依って立つところのミッションの実現は不可能である。それ故に、求める学生の確保ができないのである。

ABEST21 は、ABEST21 のミッションに従って、受審校の特徴ある教育研究機会の創造を支援し、個性豊かな大学づくりの「教育の質保証」に関わっている。(理事長、伊藤文雄)



## 2. General Information

---

### 3月会議の開催について

2015年3月5日と6日に、Peer Review Committee、Accreditation Committee、理事会、総会及び国際シンポジウムが、富士ゼロックス株式会社本社会議室と早稲田大学ビジネススクール会議室で、それぞれ開催されます。5日はPeer Review Committee、Accreditation Committee及び理事会が富士ゼロックス株式会社本社会議室で、6日は総会（General Assembly）と国際シンポジウムが早稲田大学会議室で、それぞれ行われます。5日の主な議題は2014年度認証評価の最終審議であり、6日の総会ではABEST21のNPO法人から一般社団法人への転換に関する最終報告等が予定されています。国際シンポジウムでは基調講演に基づいて「これからのABEST21の活動について」のパネル討論を予定しています。

## 3. Membership Information

---

### 新入会会員について

この度、下記2校の入会がMembership Committeeにより承認されました。次号において学校紹介をいたします。

- 1) Faculty of Economics, Universitas Sriwijaya, Prabumulih, Indonesia
- 2) Faculty of Business and Economics, Universitas Surabaya, Surabaya, Indonesia

## 4. Global Knowledge Network Information

---

### 1) Faculty of Economics and Business, Universitas Hasanuddin, Makassar, Indonesia

2014年12月11日、インドネシア・セラウシ（セレベス）島のマカッサル市に設置されている国立ハサヌディン大学のビジネススクールを訪ねました。ハサヌディン大学は2015年度にABEST21認証評価を受審する計画に基づき、副学長の Pro. dr. Budu. Ph.D., Sp.(K), M. MedEd.（写真、中央）と学部長の Gagaring Pagalung 先生（写真：左2人目）と意見交換し、その後、教授会の教職員を対象にマネジメント教育の質保証のあり方について講演してきました。ハサヌディン大学については、eNews N0.71号をご参照ください。



### 2) Faculty of Economics, Universitas Haluoleo, Kendari, Indonesia

2014年12月12日、セラウシ島のケンダリ市に設置されている国立ハルオレオ大学のビジネススクールを訪ねました。ハルオレオ大学は、国立ブラウイジャヤ大学（Universitas Brawijaya）ビジネススクールの前学部長の Gugus Irianto 博士（写真、右）の紹介で訪問いたしました。ハルオレオ大学・ビジネススクール学部長の Dean, Prof. Dr. H. Muhammad Syarif（写真、左）の司会で、全学部の学部



長等の教職員を対象に ABEST21 の高等教育の質保証のあり方について講演し、質疑応答の機会を得ました。

### 3) APMMI (ASOSIAS PROGRAM MAGISTER MANAJEMEN INDONESIA) National Seminar

2014 年 12 月 13 日、インドネシア・ジャワ島のスラバヤ市の Hotel Bumi Surabaya で、APMMI National Seminar “Sustrinable Transition : Medium to Large” が開催され、APPMI 会長の Arief Daryanto 教授（写真）の要請により、“日本の専門職大学院制度について”を講演してきました。これからのインドネシアにおける経済発展を支えていく社会人の知的生産性の向上は必須であり、組織に働く社会人のマネジメント力に優れたマネジメント人材の育成を目指した高度専門職業人育成の教育制度のあり方について、日本の専門職大学院教育制度の設立の背景、専門職大学院の設置基準及び専門職大学院の現状等について講演し、質疑応答をしてきました。



## 5. Quality Assurance Information

### SER の実地調査の実施について

2014 年度認証評価の審査における「自己点検評価報告」の書面審査結果に基づいて、下記の受審校に対して実地調査が行われました。

#### (1) 山口大学大学院技術経営研究科技術経営専攻（専門職大学院）

2014 年 12 月 6 日、山口県宇部市に本部を置く山口大学大学院技術経営研究科技術経営専攻（専門職大学院）の認証評価に係る実地調査が行われました。実地調査では、大学執行部の岡 正朗学長（写真：左側 2 人目）に対して大学の技術経営専門職大学院に対する経営戦略等についての経営方針を聞き、研究科執行部に対しては「自己点検評価報告」の不明確事項に対する質疑応答を行い、学生インタビューでは、宇部キャンパスにおいて外国人留学生と、広島キャンパスにおいて社会人学生と、それぞれインタビューを行いました。留学生インタビューでは、マレーシアの UTM に設置されている山口大学のマレーシア日本国際工科院（MJIIIT）が大きな役割を担っていることがよく分かりました。



## (2) Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Semarang, Indonesia

2014年12月15日、インドネシア・ジャワ島のスマラン市に設置されている国立ディポネゴロ大学ビジネススクールの実地調査が行われました。まず、ディポネゴロ大学長の Rektor, Pprof. Sudharto P. Hadi, Mes., Ph.D. (写真、左) とのインタビューでは、同大学のビジネススクールの位置づけとビジネススクールに対する財政的支援のあり方及びグローバル化にたいする方策等の諸問題について質疑応答が行われました。インドネシアにおいてはこれから高度専門職業人の育成が重要であるとの共通認識のもとに、ビジネススクールの教育の質をどう高めていくか、またマネジメント教育のグローバル化をどう推進していくか、大学執行部の取組についての説明をいただきました。



## (3) Othman Yeop Abdullah (OHYA) Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia

2014年12月17日、マレーシアのシントックに設置されている国立ウタラマレーシア大学のビジネススクールの実地調査が行われました。まず、同大学長の Prof. Dato' Wira Dr. Mohamed Mustafa Ishak 氏 (写真、中央) より、同大学における OHYA ビジネススクール教育の使命、同大学教育研究組織における位置づけ及び財政的支援等について説明を受けました。ビジネススクール・インタビューでは、書面審査における PRT の質問事項に対して、学部長 Azizi 教授 (写真、右端) より詳細な説明を受け、ビジネススクールが OHYA ビジネススクールとして教育研究体制の強化が図られ、校舎の改築により教育研究環境がより一層整備されたことを確認いたしました。



## (4) Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Phitsanulok, Thailand

2014年12月22日、タイ・ピサヌロックに所在するナルサワン大学に対する実地調査が、チェンマイ大学のピチャヤラク先生 (Dr. Pichayalak Pichayakul) (写真、左3人目) を主査とした Peer Review Team (PRT) によって行われました。PRT は書面審査で不明確事項であったビジネススクールのミッション及び財政的支援について学長インタビューで明確にし、学部長の Sujinda Chemisripong (写真、右から4人目) より教員確保等の問題について詳細な説明をうけました。



## 6. 2014 Retrospect (January to December 2014)

=====

“光陰矢の如し” で、またこの1年が過ぎていきます。その時間の速さが ABEST21 の成長の速

さを裏付けているようで、ABEST21 のマネジメント教育の質保証がアジア諸国に浸透しアセアン地域に ABEST21 の活動が認知されてきました。そのために、ABEST21 は 2014 年 4 月より「特定非営利活動法人（NPO）」から「一般社団法人」に改組いたしました。これを契機になお一層アジアの平和と繁栄に寄与するマネジメント人材育成のためのマネジメント教育の質保証に、より深く係っていきたくと念願しています。この 1 年間の活動を回顧して 2015 年の新年を迎えたいと思います。

### 1) 2014 年度新入会員

2014 年度の新会員校は下記の通りです。アセアン地域からの入会が増えてきています。

#### Full School Membership

- 1) PPM School of Management, Indonesia
- 2) School of Economics and Business, Telkom University, Indonesia
- 3) Faculty of Economics and Business, Universitas Airlangga, Indonesia
- 4) Faculty of Economics, Universitas Sriwijaya, Indonesia
- 5) Faculty of Business and Economics, Universitas Surabaya, Indonesia
- 6) Faculty of Industrial Management, Universiti Malaysia Pahang, Malaysia

#### Associate School Membership

- 1) 関西国際大学、日本

### 2) 2014 年度認証校

2014 年度の認証校は 8 校でした。その内訳は、初審評価（Initial Accreditation）が 4（中国（1 校）、インドネシア（1 校）、マレーシア（2 校））であり、5 年の有効期間の更新を求めた維持評価（Maintenance Accreditation）が 4 校（日本）です。

#### 初審評価（Initial Accreditation）

- 1) School of Business Administration, Northeastern University, China
- 2) Faculty of Economics and Business, Universitas Padjadjaran, Indonesia
- 3) Graduate School of Business, Universiti Sains Malaysia, Malaysia
- 4) Graduate School of Management, International Islamic University Malaysia, Malaysia

#### 維持評価（Maintenance Accreditation）

- 5) 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻（専門職大学院）、日本
- 6) 一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営・金融専攻（専門職大学院）、日本
- 7) 神戸大学大学院経営学研究科現代経営学専攻（専門職大学院）、日本
- 8) 筑波大学大学院ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻（専門職大学院）、日本

### 3) 2014 年度の年間活動報告

2014 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間の主な活動は下記の通りです。

#### 2014 年 01 月

- ・ 08 日：ABEST21・APPMI・AFEBI と Joint Seminar を共催
- ・ 09 日：Faculty of Economics and Business, Universitas Padjadjaran, Indonesia の実地調査
- ・ 10 日：Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Indonesia の往訪
- ・ 14 日：第 17 回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 16 日：筑波大学大学院ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻（専門職大学院）の実地調査

- ・ 20 日 : 第 18 回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 22 日 : 意見調整委員会を開催
- ・ 24 日 : 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻(専門職大学院) の実地調査
- ・ 27 日 : Graduate School of Management, International Islamic University Malaysia, Malaysia の実地調査
- ・ 29 日 : Graduate School of Business, Universiti Sains Malaysia, Malaysia の実地調査

#### 2014 年 2 月

- ・ 03 日 : 第 19 回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 04 日 : ソニー本社を訪問
- ・ 07 日 : Accreditation Division の幹事会を開催
- ・ 10 日 : 第 20 回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 17 日 : 第 21 回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催
- ・ 20 日 : クアラルンプールの MSU-City Campus で Accreditation セミナーを開催
- ・ 24 日 : 第 22 回 ABEST21-QMC 経営委員会を開催

#### 2014 年 3 月

- ・ 05 日 : ベトナム・ハノイで AQAN と MOU を調印
- ・ 06 日 : Sony University で Peer Review Committee を開催
- ・ 07 日 : Sony University で Accreditation Committee を開催
- ・ 08 日 : 筑波大学大塚の東京キャンパスで理事会、総会及び国際シンポジウムを開催
- ・ 17 日 : 文部科学省に 2013 年度認証評価審査結果を報告
- ・ 17 日 : 南青山会館で第 26 回マネジメント人材育成協議会を開催
- ・ 26 日 : 文部科学省に 2013 年度認証評価審査結果の報告書を提出
- ・ 26 日 : 文部科学省記者クラブに 2013 年度認証評価審査結果を発表
- ・ 28 日 : 文部科学省に組織変更及び認証評価大綱等の変更を届出

#### 2014 年 4 月

- ・ 02 日 : 文部科学省記者クラブに平成 25 年度認証評価審査結果を発表
- ・ 04 日 : 文部科学省板東久美子文部科学審議官に平成 25 年度分野別認証評価審査結果を報告
- ・ 10 日 : 文部科学省高等教育局長吉田大輔氏に平成 25 年度分野別認証評価審査結果を報告
- ・ 11 日 : 第 2 回分野別認証評価機関ネットワーク機構会議を開催
- ・ 14 日 : QMC 委員会を開催
- ・ 16 日 : 維持評価セミナーを開催
- ・ 17 日 : QMC 委員会を開催
- ・ 18 日 : 第 2 回 ABEST21-QMC セミナーを開催
- ・ 24 日 : Accreditation Division Chair 会議を開催
- ・ 24 日-25 日 : ロシア・モスクワ大学に対する初審評価セミナーを開催
- ・ 28 日 : QMC 委員会を開催

#### 2014 年 5 月

- ・ 14 日 : QMC 経営委員会を開催
- ・ 19 日 : QMC 経営委員会を開催
- ・ 21 日 : 第 27 回マネジメント人材育成協議会を開催
- ・ 25 日-27 日 : IMT-GT Forum (Pekanbare, Indonesia) に出席

- ・ 28 日 : Universitas Lampung (Bandare Lampung)を訪問
- ・ 30 日 : Universitas Gadjah Mada (Yogyakarta)を訪問
- ・ 31 日 : Universitas Sebelas Maret (Solo)を訪問

#### 2014 年 6 月

- ・ 02 日 : Satya Wacana Christian University (Salatiga)を訪問
- ・ 03 日 : APPMI National Seminar 2014 に出席
- ・ 04 日 : ABEST21 Accreditation Workshop 2014 (Semarang)を開催
- ・ 05 日 : Universitas Diponegoro (Semarang)を訪問
- ・ 09 日 : QMC 経営委員会を開催
- ・ 12 日 : 文部科学省に IMT-GT Forum を報告
- ・ 16 日 : 株式会社東芝と Case Writing について打合せ
- ・ 16 日 : QMC 経営委員会を開催
- ・ 19-21 日 : 中国・瀋陽市の東北大学で ABEST21 Shenyang Conference を開催
- ・ 23 日 : QMC 経営委員会を開催
- ・ 30 日 : QMC 経営委員会を開催

#### 2014 年 7 月

- ・ 15 日 : 株式会社東芝と Case Writing Project について打合せ
- ・ 17 日 : 第 28 回マネジメント人材育成協議会を開催
- ・ 29 日 : Peer Review Committee 委員長の椿教授と打合せ
- ・ 30 日 : 東芝総合人材開発株式会社を訪問

#### 2014 年 8 月

- ・ 04 日 : 文部科学省を訪問
- ・ 05 日 : ソニー株式会社を訪問
- ・ 05 日 : 日産自動車株式会社を訪問
- ・ 08 日 : 早稲田大学を訪問
- ・ 13 日 : "Accreditation Plan Seminar"を Bogor Agricultural University で開催
- ・ 29 日 : 東芝総合人材開発株式会社を訪問

#### 2014 年 9 月

- ・ 01 日 : QMC 経営委員会を開催
- ・ 09 日 : 第 3 回分野別認証評価機関ネットワーク機構会議を開催
- ・ 10 日 : 南山大学の「実行計画履行状況報告」の現地調査を実施
- ・ 12 日 : 京都大学の「実行計画履行状況報告」の現地調査を実施
- ・ 17 日 : 富士ゼロックス株式会社を訪問
- ・ 18 日 : 早稲田大学の「実行計画履行状況報告」の現地調査を実施
- ・ 22 日 : QMC 経営委員会を開催
- ・ 29 日 : 第 1 回 QMC 総会を開催

#### 2014 年 10 月

- ・ 01 日 : SBM-Institut Teknologi Bandung (Bandung)で PRT 現地調査を実施
- ・ 02 日 : FEB-Universitas Indonesia (Jakarta) で PRT 現地調査を実施
- ・ 04 日 : FEB--Universitas Brawijaya (Malang) で PRT 現地調査を実施
- ・ 05 日 : FEB-Universitas Airlangga (Surabaya) で Accreditation Seminar を開催
- ・ 06 日 : FEB-Universitas Surabaya (Surabaya) で Accreditation Seminar を開催



- ・ 07 日 : Management & Science University(Kuala Lumpur)で PRT 実地調査を実施
- ・ 07 日 : Malaysian Qualifications Agency (MQA)を訪問
- ・ 09 日 : 南青山会館で第 29 回 マネジメント人材育成協議会を開催
- ・ 17 日 : ASEAN Quality Assurance Network の 2014 AQAN Roundtable Meeting に出席
- ・ 25 日 : 京都大学で開催の第 9 回 ICBMR 国際会議に出席

#### 2014 年 11 月

- ・ 05 日～07 日 : Sony University で Peer Review Committee を開催
- ・ 16 日 : Universiti Malaysia Pahang (UMP), Kuantan で Accreditation Seminar を開催
- ・ 18 日 : ソニー株式会社を訪問
- ・ 20 日 : 東芝株式会社を訪問
- ・ 24 日 : Universiti Teknologi MARA (UiTM) , Kuala Lumpur で PRT 実地調査を実施
- ・ 25 日 : Universiti Kebangsaan Malaysia(UKM) , Kuala Lumpur で PRT 実地調査を実施
- ・ 26 日 : Universiti Teknologi Malaysia (UTM), Kuala Lumpur を訪問
- ・ 26 日 : University of Malaya (UM), Kuala Lumpur を訪問
- ・ 27 日 : Universiti Putra Malaysia (UPM) , Kuala Lumpur で PRT 実地調査を実施
- ・ 29 日 : SP Jain School of Global Management で PRT 実地調査を実施

#### 2014 年 12 月

- ・ 06 日 : 山口大学大学院技術経営研究科技術経営専攻（専門職大学院）で PRT 実地調査を実施
- ・ 11 日 : FEB-Universitas Hasanuddin (Makassar) を訪問
- ・ 12 日 : FEB-Universitas HaluOleo (Kendari) を訪問
- ・ 13 日 : APMMI 会議 (Surabaya) に出席
- ・ 15 日 : FEB-Universitas Diponegoro (Semarang, Indonesia)で PRT 実地調査を実施
- ・ 17 日 : Universiti Utara Malaysia (Alo Seter, Malaysia) で PRT 実地調査を実施
- ・ 22 日 : タイ・Naresuan University (Phitsanulok, Thailand) で PRT 実地調査を実施